

1. 上尾市の計画方針

上尾市では、上尾市教育振興基本計画において「夢を育み、未来を創る、上尾の教育」を基本理念として掲げ、教育の振興に取り組んでいます。

上尾市教育振興基本計画では、ソフト面とハード面の目標を掲げ教育行政を促進するとともに、この目標と連携する形で上尾市学校施設更新計画を定め、新しい時代の学びにふさわしい学校づくりを目指して、市を挙げて老朽化の進む学校施設の更新を進めています。

■ソフト面：

教育内容の充実、いじめ対策、家庭や地域との連携強化など

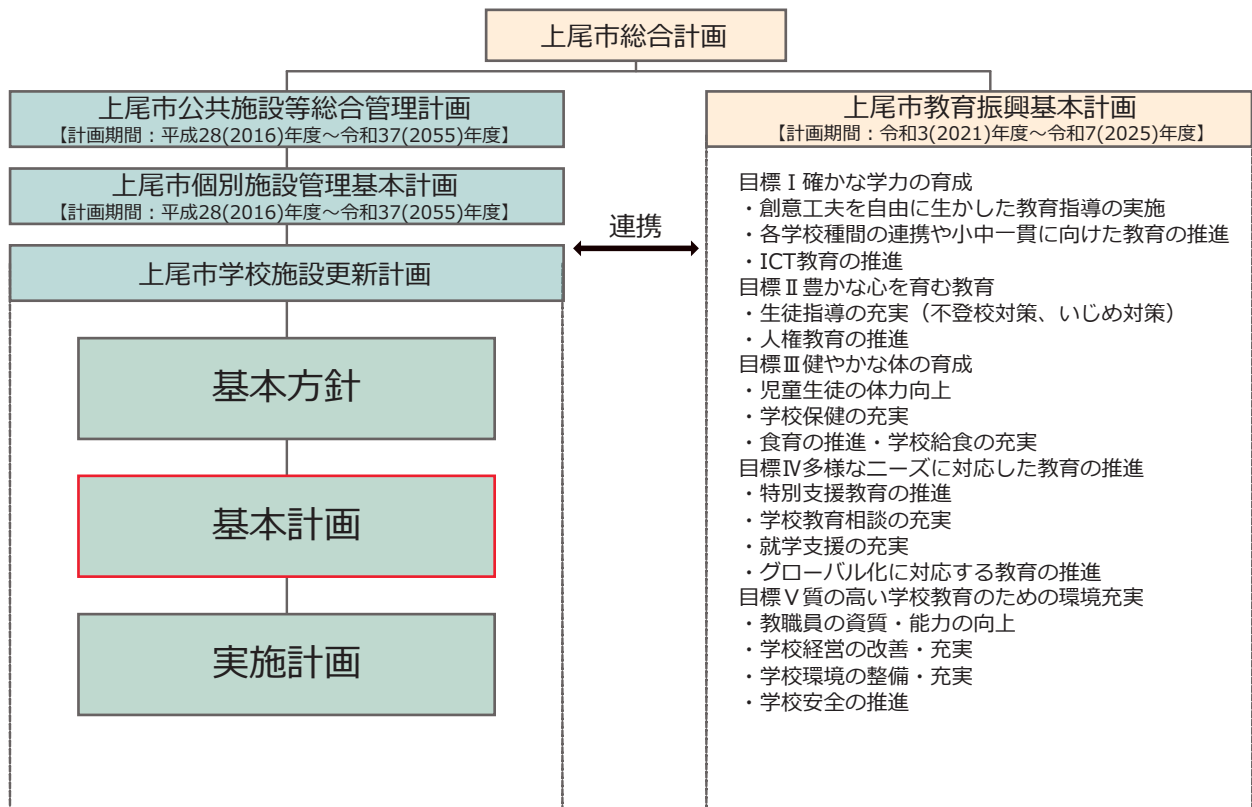
■ハード面：

学校施設の整備、ICT環境の整備、快適な学習環境づくりなど

上尾市学校施設更新計画基本計画
～ 新しい時代の学びにふさわしい学校を目指して ～

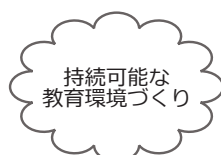


令和5年3月改定
上尾市教育委員会



2. 計画のコンセプト

学校施設更新計画では、持続可能な教育環境づくりをコンセプトに3つの方向性を挙げています。



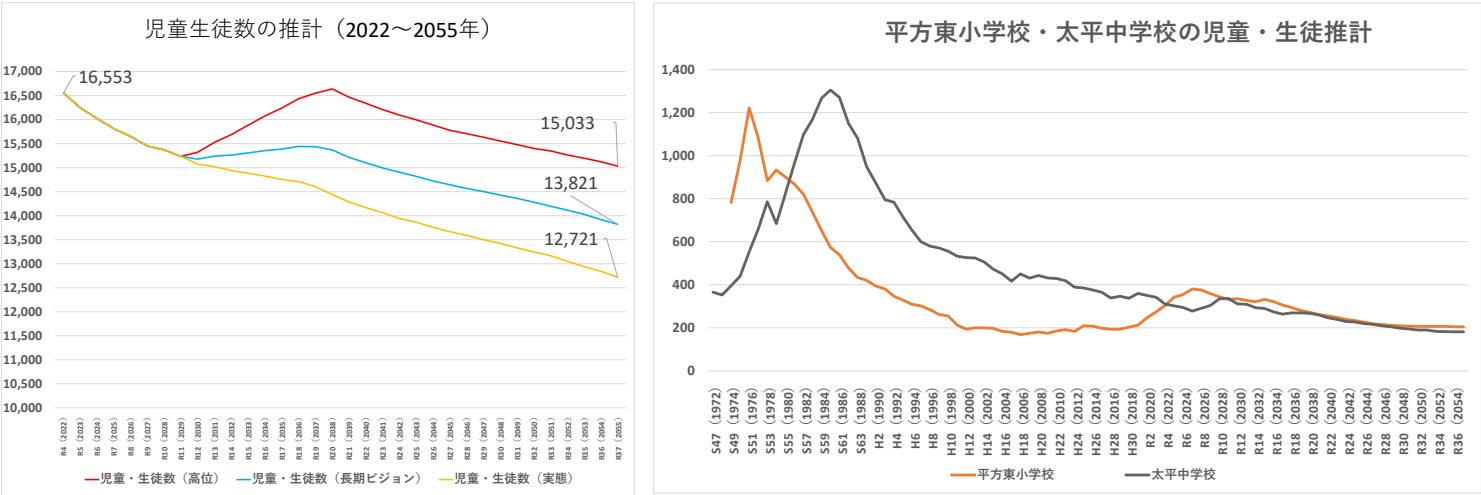
方向性1 新しい時代の学びにふさわしい学校づくり＜教育環境の整備＞

方向性2 子供たちの学びに望ましい学校規模の維持＜学校規模の適正＞

方向性3 計画的・効率的な学校施設の更新＜学校施設の更新方針＞

3.人口

上尾市では児童生徒が減少しており、高位、長期ビジョン、実態全てで、右肩下がりとなると推計となっております。太平中学校・平方東小学校の児童・生徒数は、令和5年以降は緩やかに減少し、令和37年には両校あわせて、400人程度と見込まれます。



4.建物

建物について、1970年代に建設した棟は建築後50年程度経過しており、表のように老朽が進行している状況です。加えて、ICT教育の推進により、一人一台端末を用いた授業への転換など、大きく教育の行われ方が変化している状況でもあります。そこで、児童生徒の推移推計や建物劣化状況、教育の変化に鑑み、学校施設の更新を行うにあたっての基本的な考えを示した、学校施設更新計画を策定し、現在その推進をスタートいたしました。

平方東小学校				
建物名	構造	延床面積	建築年度	築年数
特別教室・体育館	RC+S	1482	S49	51
北校舎西	RC	2455	S49	51
管理・南校舎	RC	2207	S49	51
北校舎東	RC	846	S51	49
給食室	RC	167	S51	49

太平中学校				
建物名	構造	延床面積	建築年度	築年数
管理・南校舎東	RC	2132	S44	56
北校舎	RC	2619	S50・S53	50・47
南校舎西	RC	1426	S57	43
体育館	RC+S	762	S46	54
渡り廊下	RC	231	S50・H4	50・33
格技場	S	432	H1	30
給食室	RC	167	S50・H4	50・33

※構造欄の「RC」は鉄筋コンクリート造、「S」は鉄骨造を示す。
 ※着色部分(桃色)は建築年数40年以上の建物を示す。

5.施設整備の4つのキーワード

配置計画の際には、どの計画もこの4つのキーワードを軸に検討を行っています。

安全・安心な学校

①学校施設の更新による安全・安心な教育環境の確保

- 取組
- ・建物を支える柱などの劣化状況調査
 - ・健全性・安全性有 延命利用
 - ・無 建替え

②避難所としての学校施設の活用

- 取組
- ・セキュリティの確保
 - ・導線計画
- 災害時、学校施設を地域住民に開放



安全・安心な教育環境、地域コミュニティの拠点（イメージ）



地域の避難所としての防災機能の強化（イメージ）

新しい学びに対応した学校

①新しい学びに対応した教育環境・設備を備えた学校への改築

- 取組
- ・変化に対応する柔軟性・可変性のある施設整備
 - ・多様な学習活動を展開できる教室空間を検討
 - ・設備や家具の工夫による多様な学習空間の展開、教室環境の充実
 - ・教職員の働き方改革を推進し、校務等の能率を最大化するための執務空間を検討
 - ・インクルーシブ教育システムの構築



多様な学習活動を展開できる教室空間（イメージ）

地域に開かれた学校

①学校と地域が連携・協働していくための空間整備

- 取組
- ・明瞭なゾーニングや、死角を作らない空間配置など、防犯の視点から検討
- 地域コミュニティの拠点として開放

②地域コミュニティ拠点となる施設の複合化

- 取組
- ・防犯対策や配置計画
 - ・空間構成に配慮し検討
- 公民館や図書館などの社会教育施設との複合化や共有化



学びの可能性を広げるデジタルの活用（イメージ）



多様な活動ができる空調設備のある体育館（イメージ）

快適な学校

①空調設備の充実や脱炭素社会の実現に向けた環境整備

- 取組
- ・空調設備の充実・省エネルギーや再生可能エネルギーの導入

②学校を利用するすべての人に配慮した環境整備

- 取組
- ・バリアフリー化
 - ・ユニバーサルデザインの採用
- 利用者全てに優しい学校施設



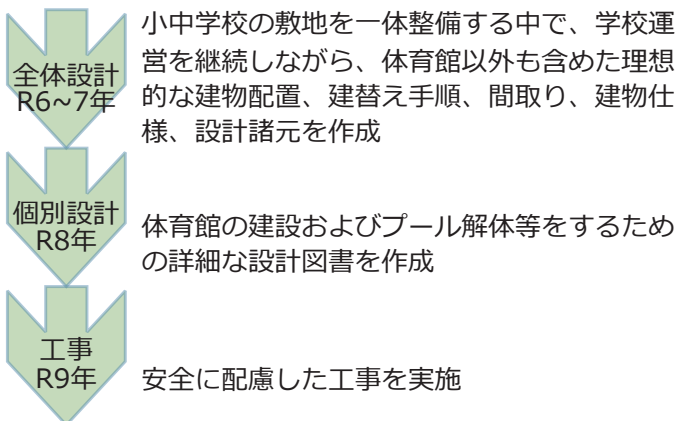
太陽光発電設備を導入し環境教育に活用（イメージ）



学校施設の木質化（イメージ）

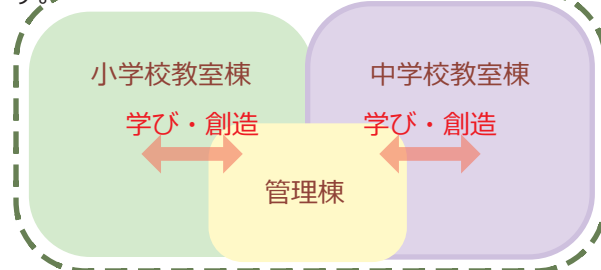
6.スケジュール

新体育館の完成までの流れは次の通りとなります。



7.これからの学校づくり(太平中学校・平方東小学校)

管理棟を中心に小学校教室棟と中学校教室棟を配置した配置計画を行っています。これにより管理棟を共有スペースとし、小中学校の敷地の効率的な活用を目指します。また、小中学校間での連携がしやすくなり、小学校教育から中学校教育への円滑な接続を促すことができます。

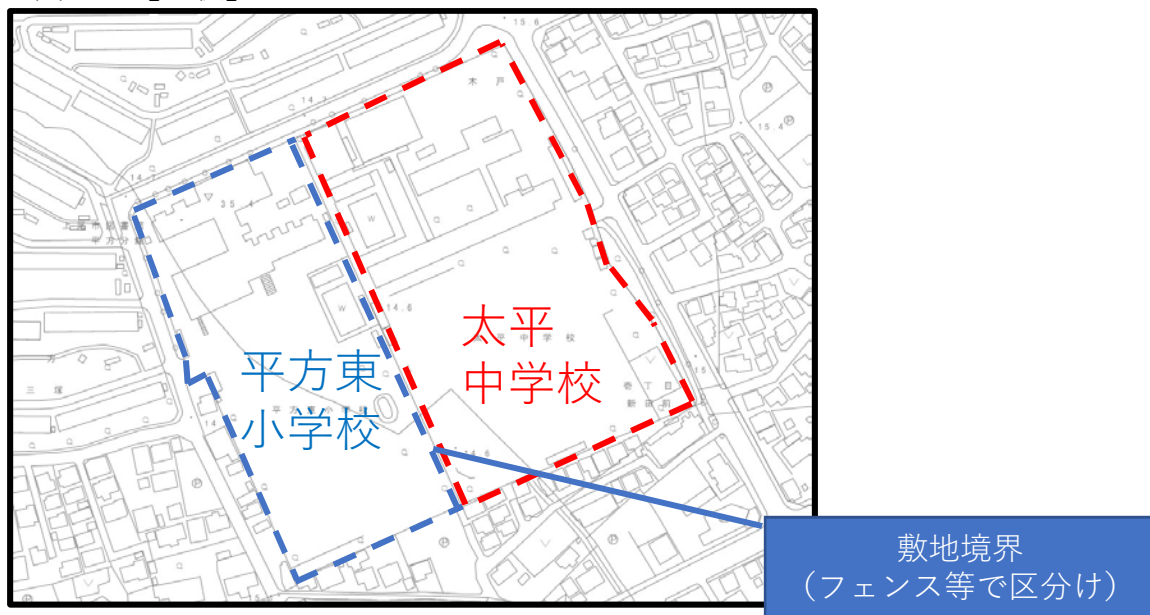


8.隣接校との効率的・効果的な施設整備について

太平中学校と平方東小学校は隣接しているため、小・中学校の敷地及び校舎を一体化させた学校の整備を検討しています。（図1 参照）

小中一体型の施設整備により、職員室、事務室の他、利用頻度の少ない調理室や被服室等、小・中共有の施設を設けることで、効果的な施設利用や施設機能の充実が可能となり、小・中学校の交流の一層の促進や児童生徒の学習効果の高まりが期待されます。なお、小中一体型の校舎における小・中学校間で共有する施設については、体格差や授業時間の違いなど、教育活動や学校生活の特性を考慮したゾーニングを図りつつ、検討を進めています。

図1 【現状】

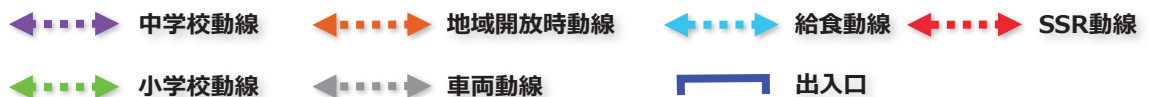
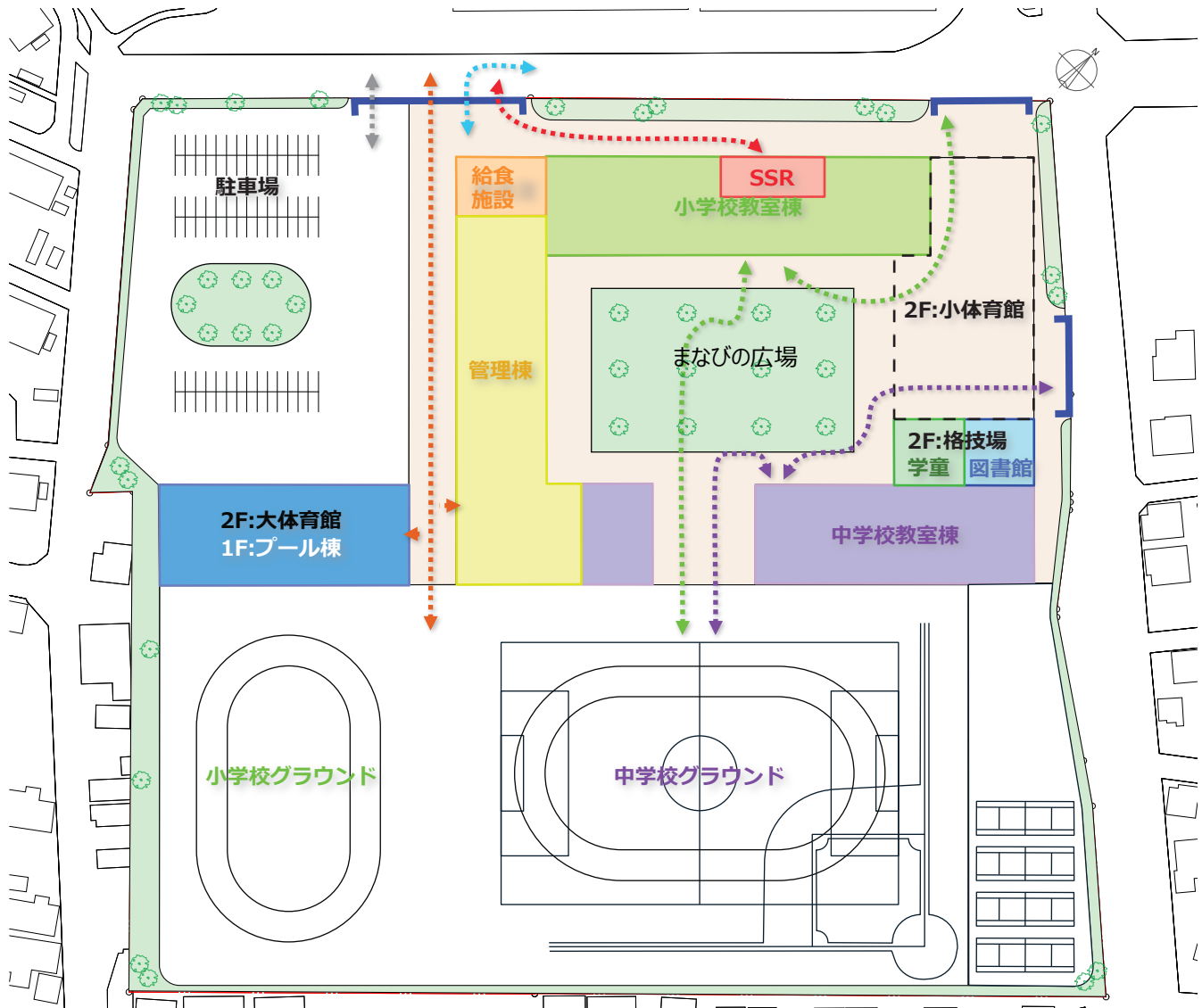


【配置計画 検討敷地】



配置検討（A案）

■ 配置計画の完成イメージ



凡例

	中学校エリア		管理エリア		図書館		プール
	小学校エリア		給食エリア		学童		SSR

※小/中学校教室棟にはそれぞれ普通教室と特別教室を含む

※SSR（スペシャルサポートルーム）は学校には行けるけれど自分のクラスには入れない時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に利用できる部屋のことです。

■ 計画の特徴

<良い点>

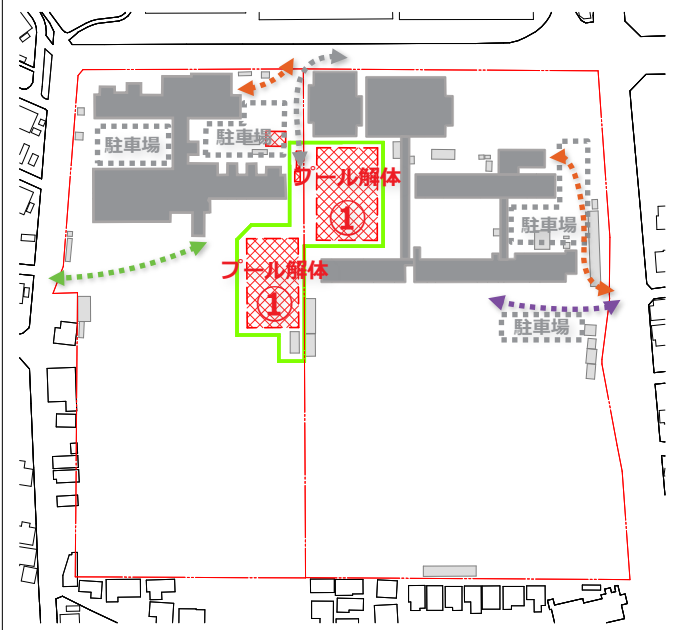
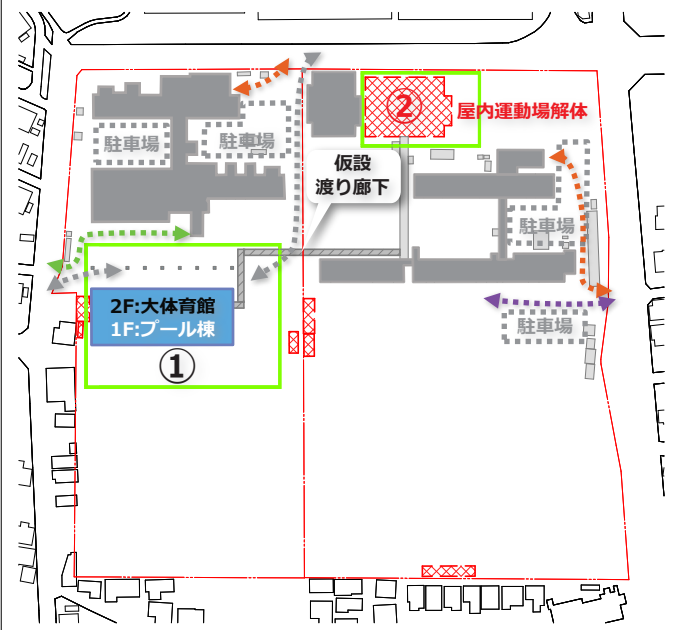
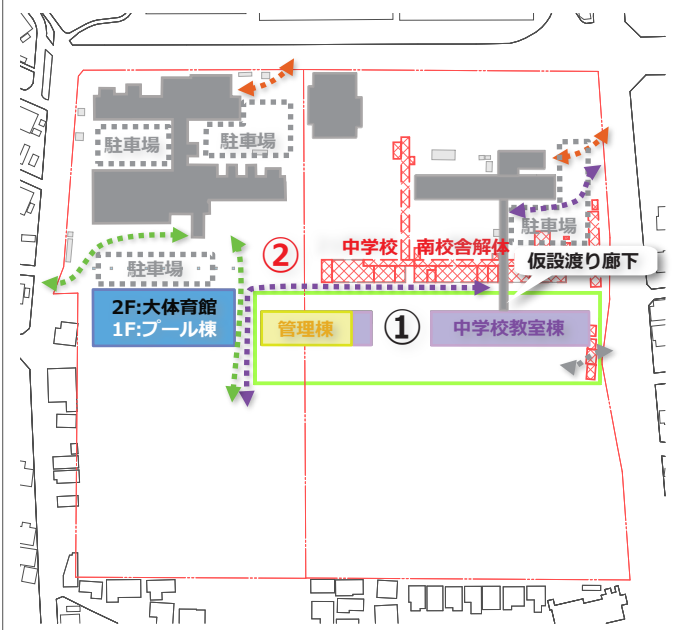
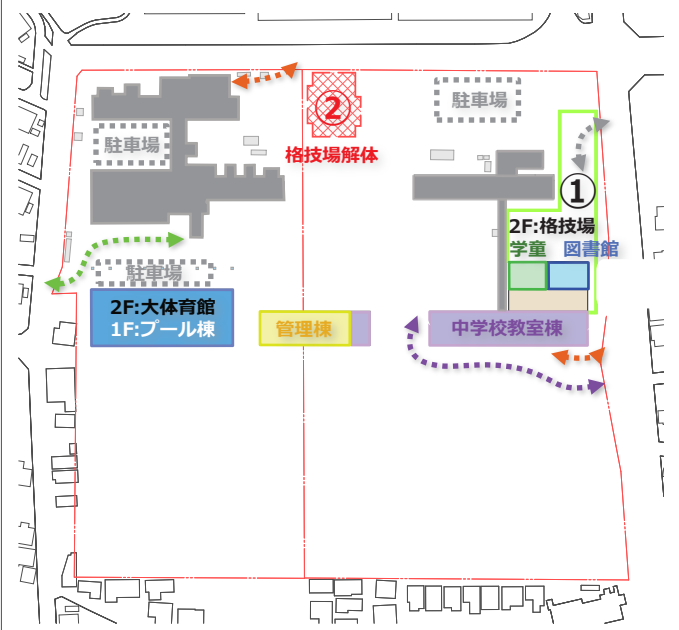
- ・建物に囲まれたまなびの広場を設置し、風の強い日などの天候の影響が少なく、休み時間に利用しやすい空間とすることで、小中学校の一体感が生まれる。
- ・小学校と中学校のゾーニング分けが明確。

<懸念点>

- ・既存中学校の校舎全体を囲うように新校舎を建設するため、施工面積が大きくなる。

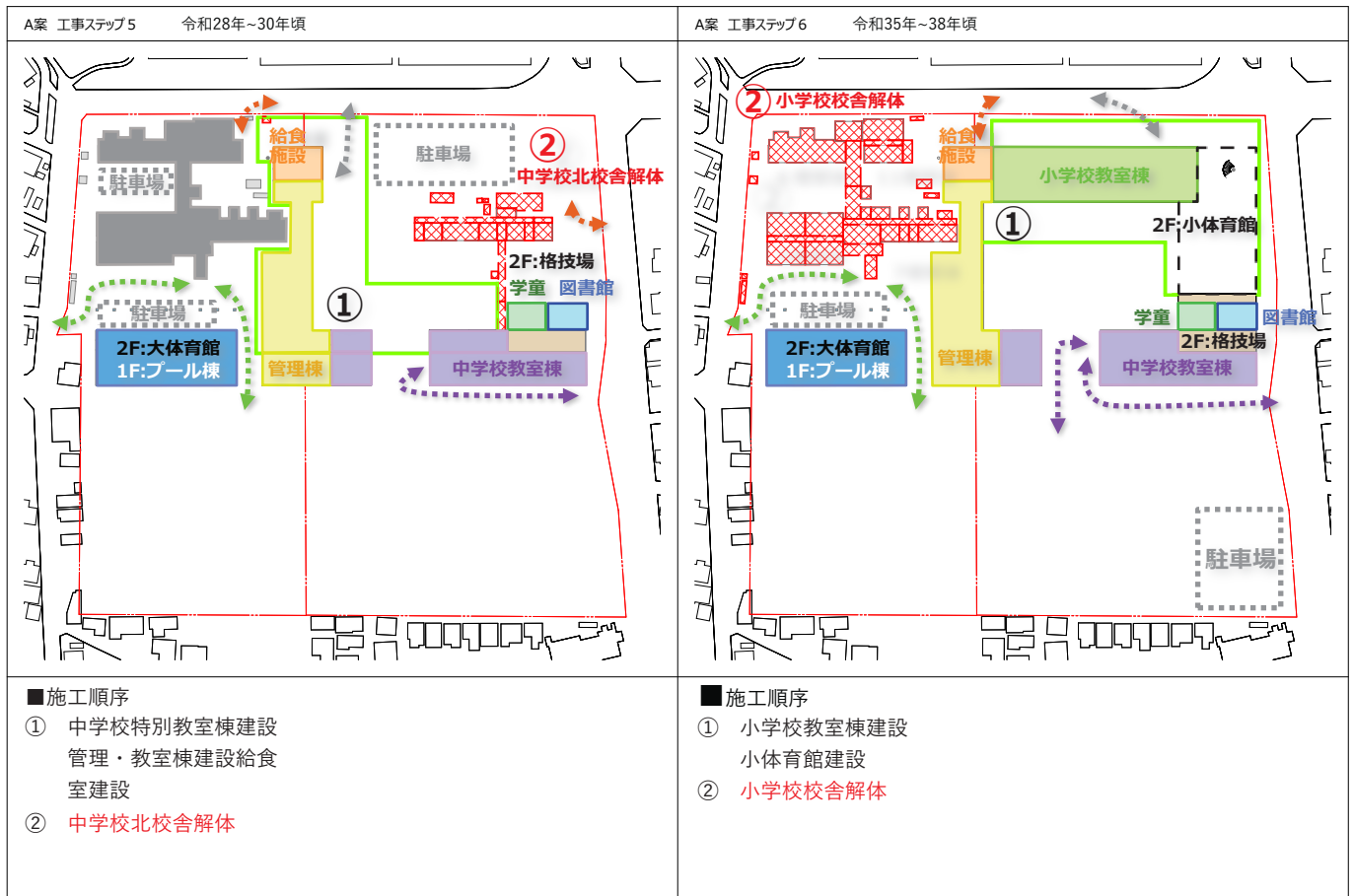
配置検討（A案）

■工事ステップの概要

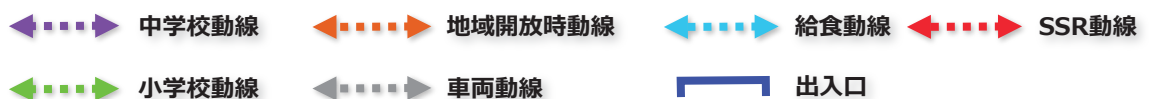
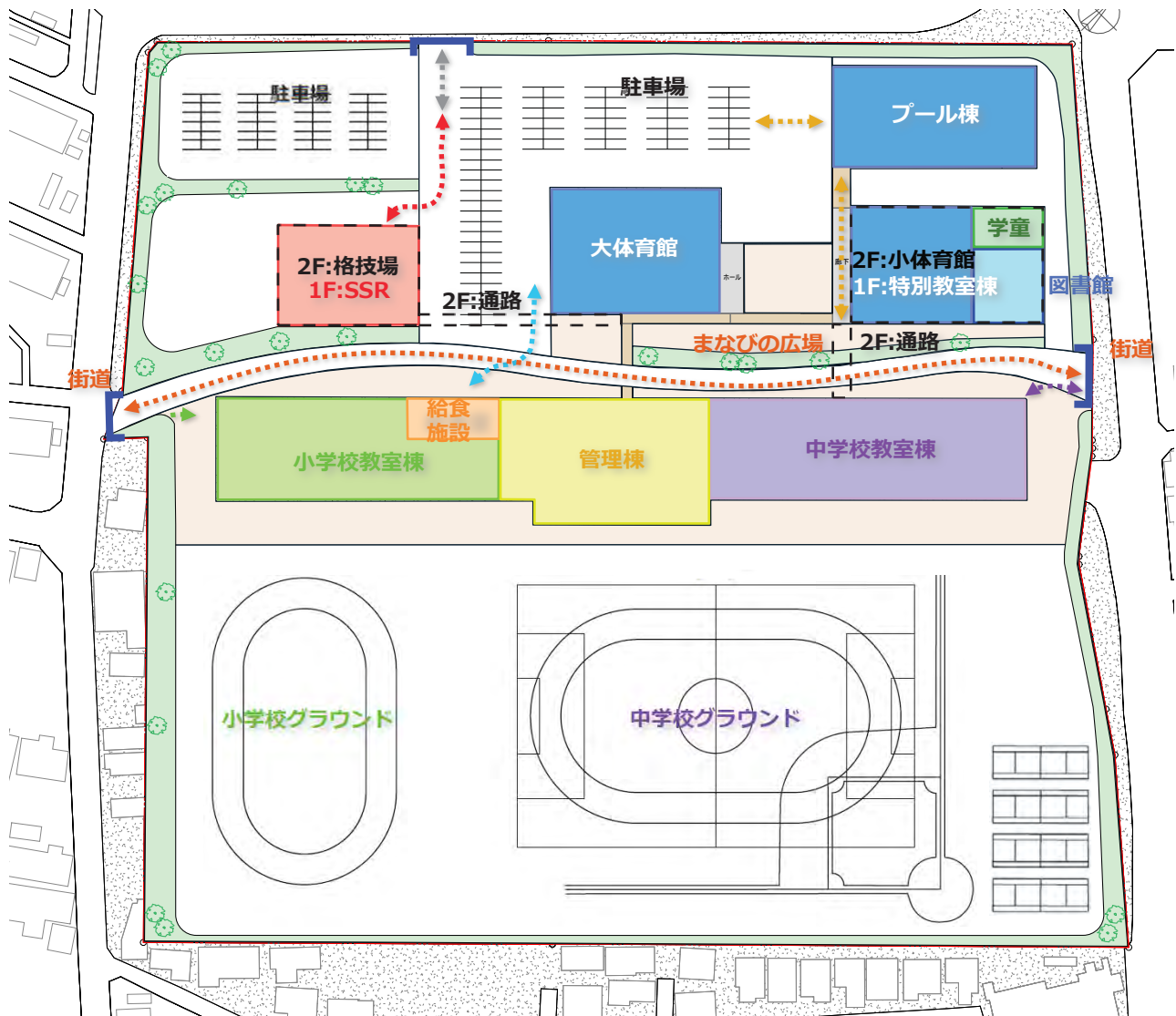
<p>A案 工事ステップ1 令和8年頃</p>  <p>■施工順序</p> <p>① プール解体</p>	<p>A案 工事ステップ2 令和9年～11年頃</p>  <p>■施工順序</p> <p>① 大体育館建設 プール棟建設</p> <p>② 屋内運動場解体</p>
<p>A案 工事ステップ3 令和14年～17年頃</p>  <p>■施工順序</p> <p>① 中学校教室棟建設 管理・教室棟建設</p> <p>② 中学校南校舎解体</p>	<p>A案 工事ステップ4 令和21年～23年頃</p>  <p>■施工順序</p> <p>① 格技場建設 図書館分館建設</p> <p>② 格技場解体</p>

配置検討（A案）

■工事ステップの概要



■配置計画の完成イメージ



凡例

中学校エリア	管理エリア	図書館	プール
小学校エリア	給食エリア	学童	SSR

※小/中学校教室棟にはそれぞれ普通教室と特別教室を含む

※SSR（スペシャルサポートルーム）は学校には行けるけれど自分のクラスには入れない時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に利用できる部屋のことです。

■計画の特徴

<良い点>

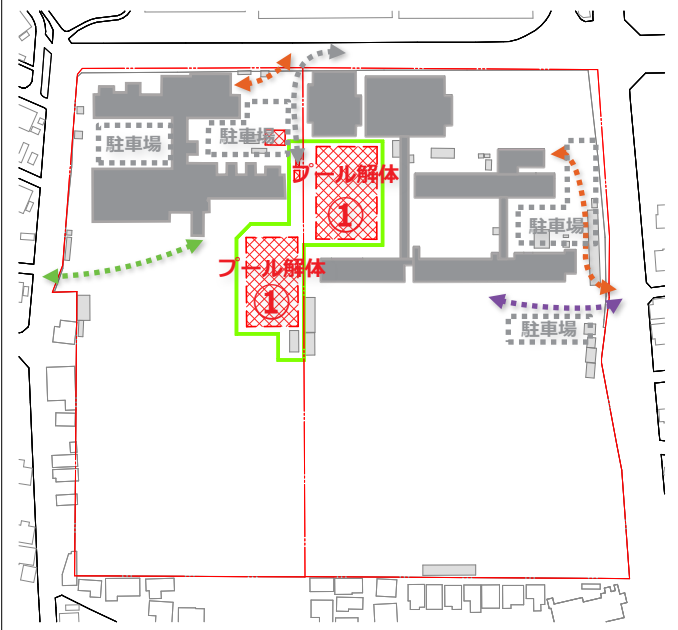
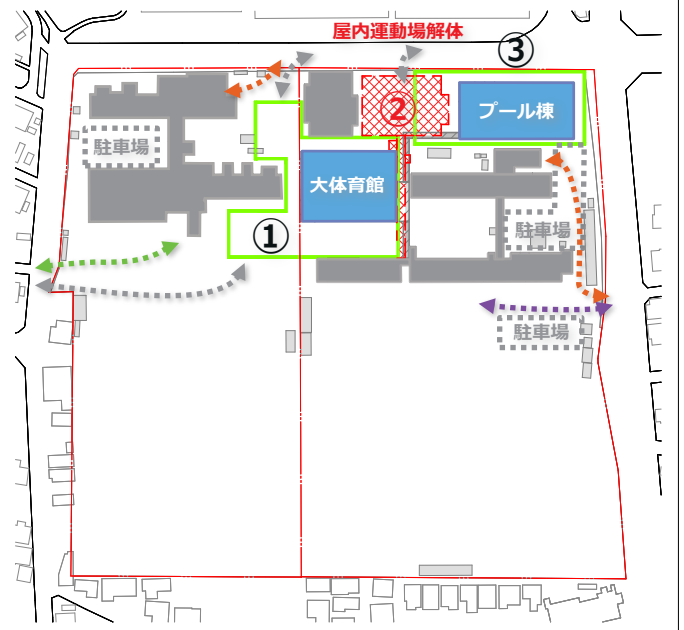
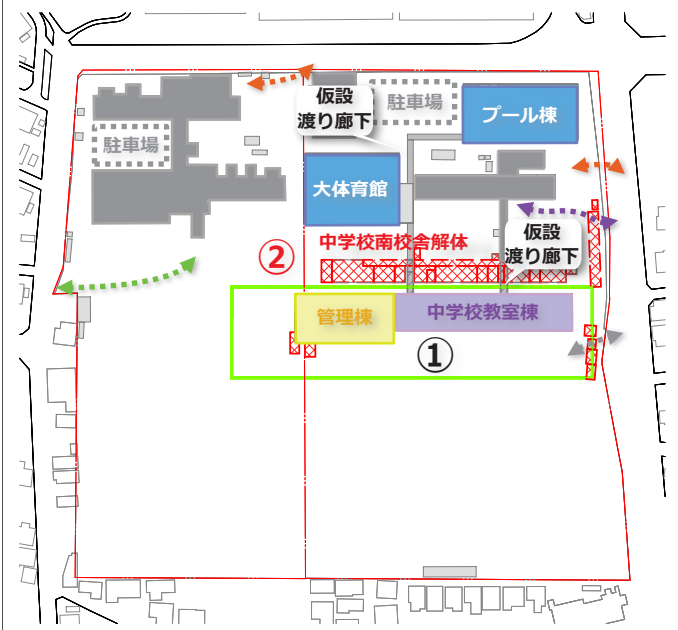
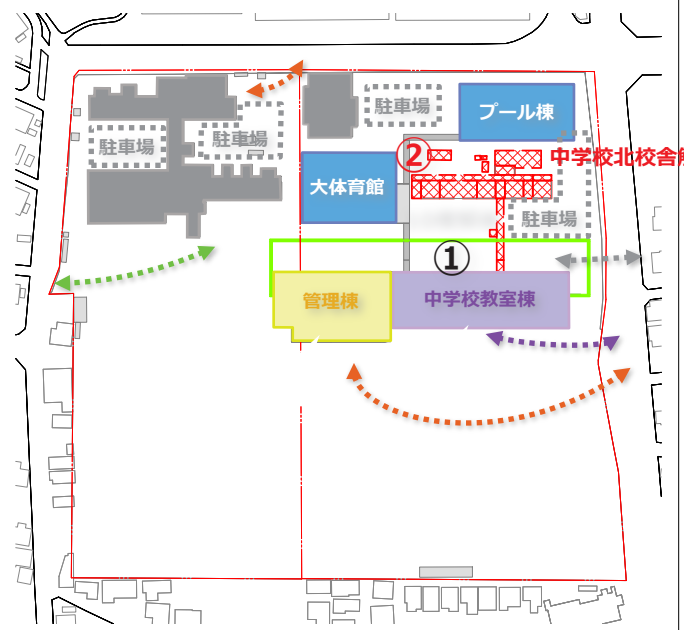
- ・児童、生徒数の増減に対して、柔軟な教室配置がしやすい。
- ・地域開放エリアのゾーニングが明確。

<懸念点>

- ・特別教室には渡り廊下を通過しなければいけない。
- ・ほかの案に比べ、小学校エリアから小体育館が遠い。

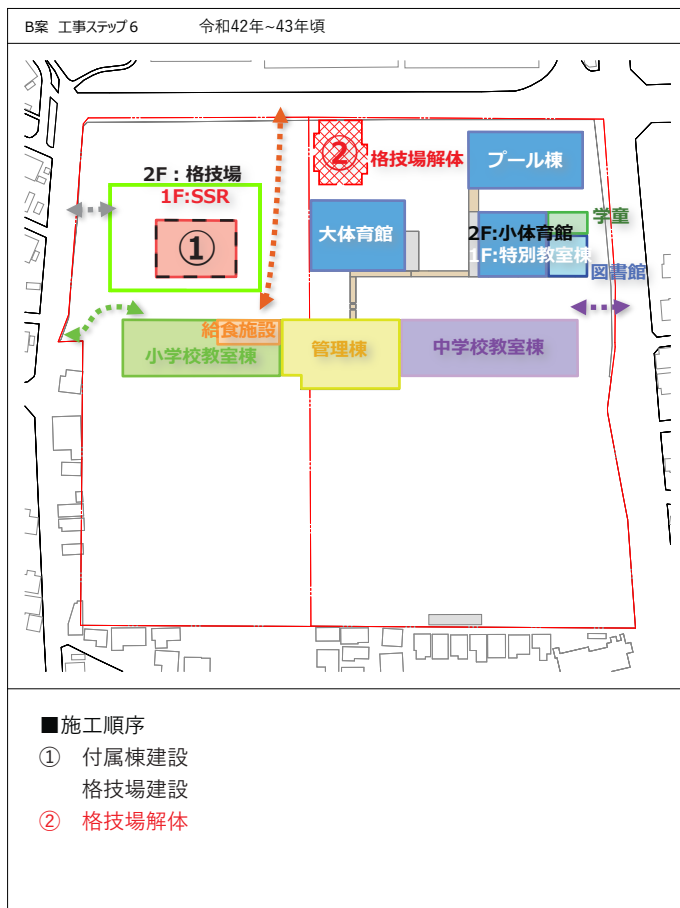
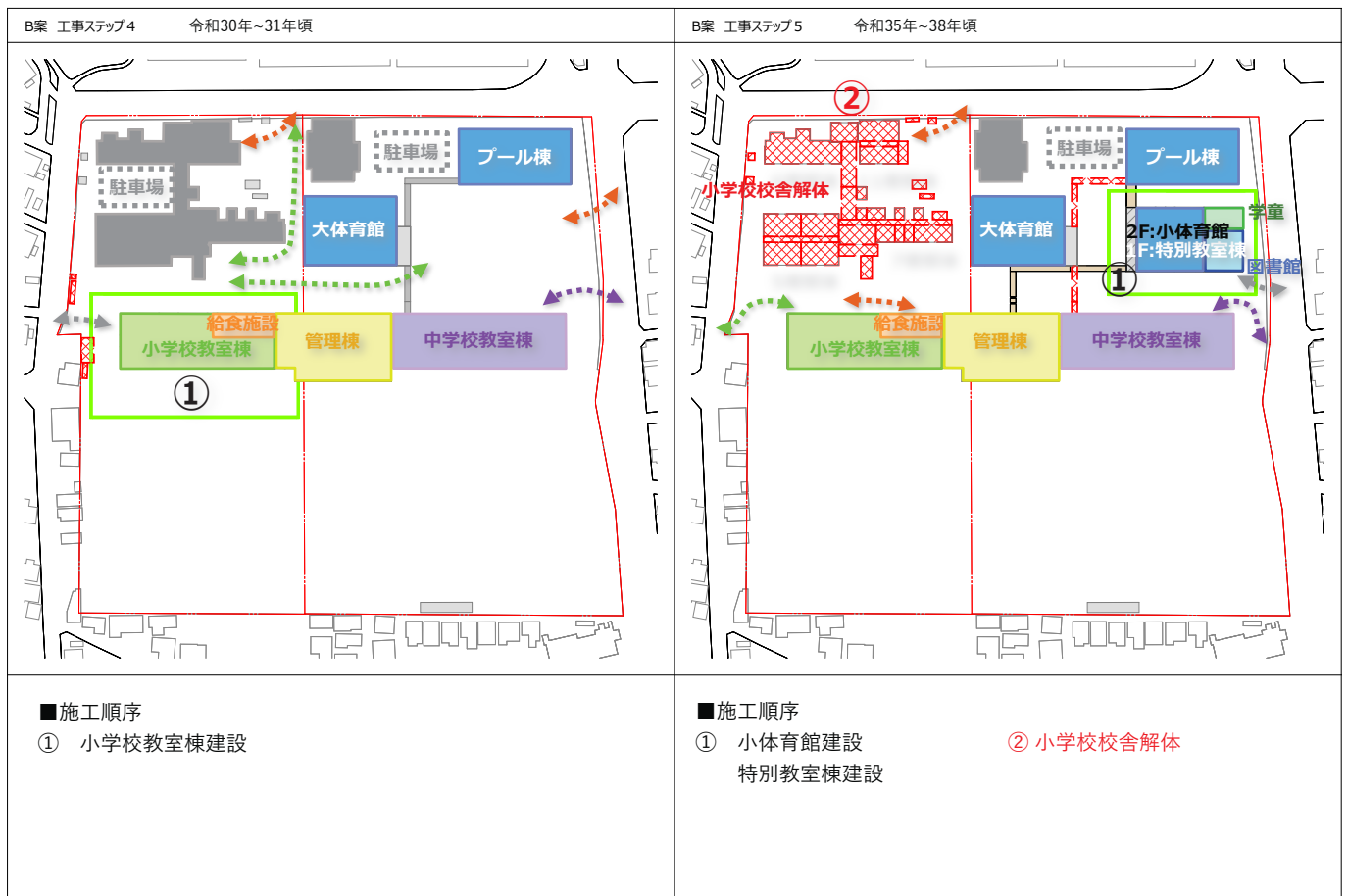
配置検討（B案）

■工事ステップの概要

<p>B案 工事ステップ1 令和8年頃</p>  <p>■施工順序</p> <p>① プール解体</p>	<p>B案 工事ステップ2か 令和9～11年頃</p>  <p>■施工順序</p> <p>① 大体育館建設 ② 屋内運動場解体 ③ プール棟建設</p>
<p>B案 工事ステップ3 令和14年～16年頃</p>  <p>■施工順序</p> <p>① 管理・教室棟建設 中学校教室棟建設 ② 中学校南校舎解体</p>	<p>B案 工事ステップ3-2 令和28年～29年頃</p>  <p>■施工順序</p> <p>① 特別教室棟建設 ② 中学校北校舎解体</p>

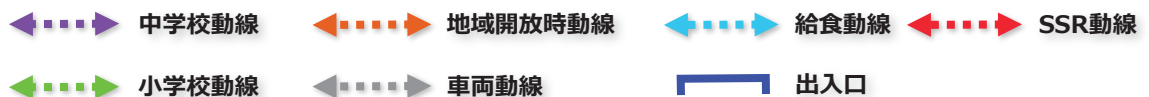
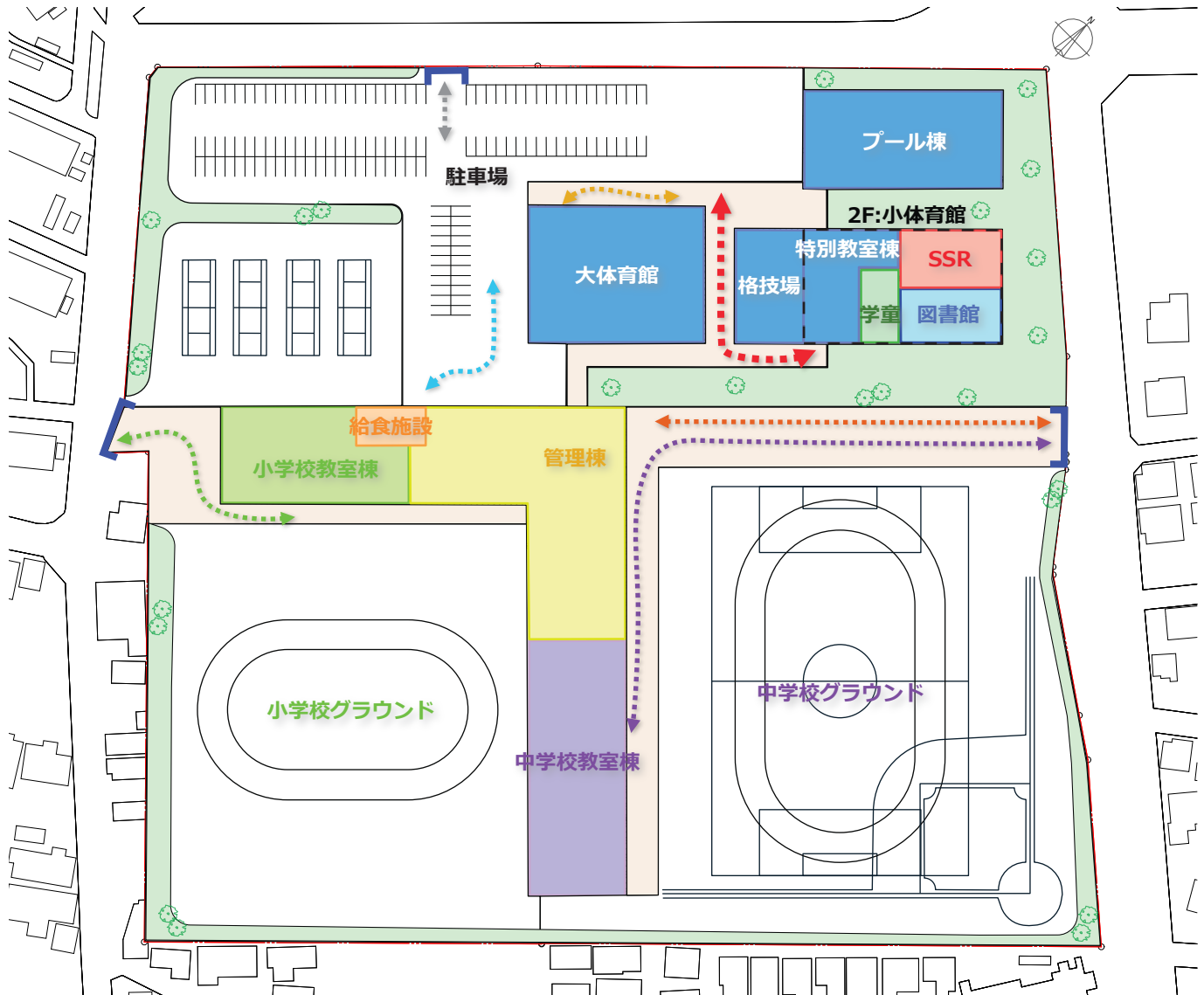
配置検討（B案）

■工事ステップの概要



配置検討（C案）

■配置計画の完成イメージ



凡例

中学校エリア	管理エリア	図書館	プール
小学校エリア	給食エリア	学童	SSR

※小/中学校教室棟にはそれぞれ普通教室と特別教室を含む

※SSR（スペシャルサポートルーム）は学校には行けるけれど自分のクラスには入れない時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に利用できる部屋のことです。

■計画の特徴

<良い点>

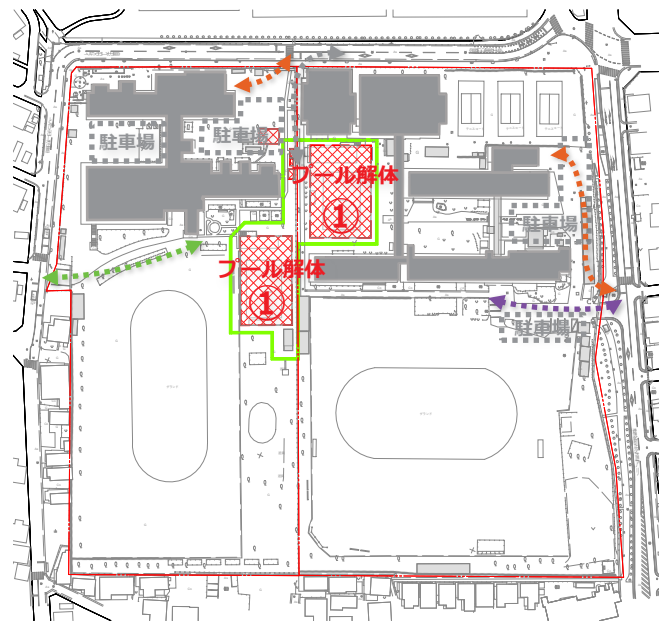
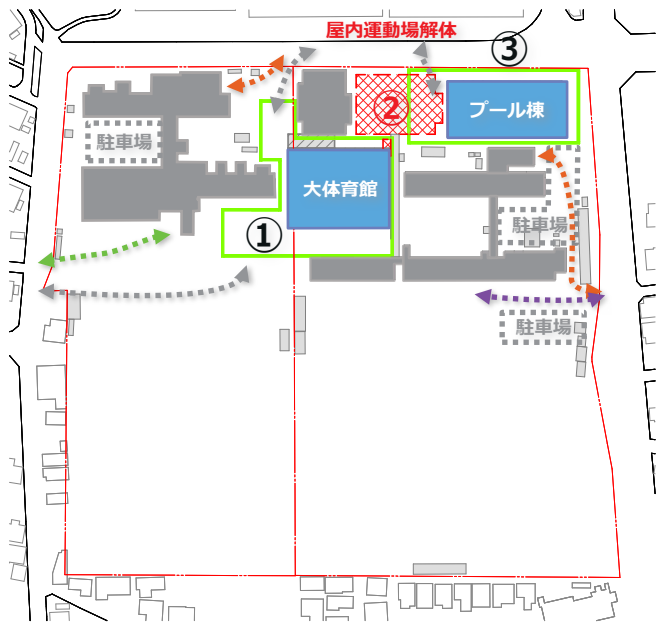
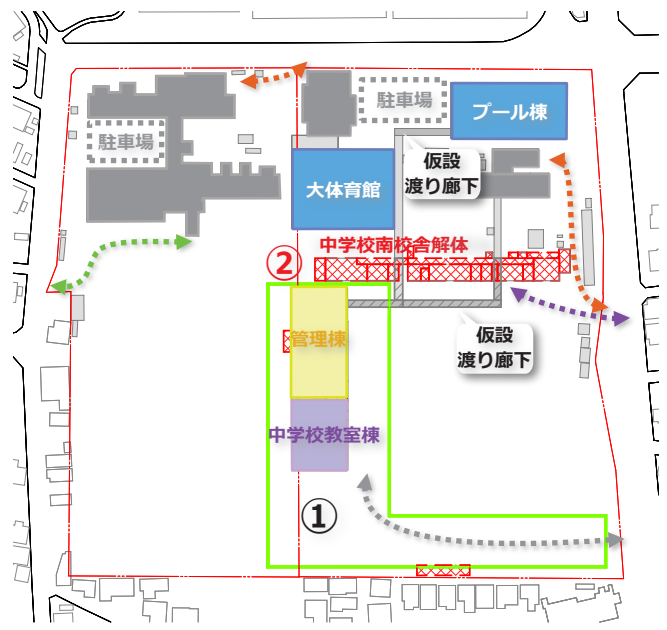
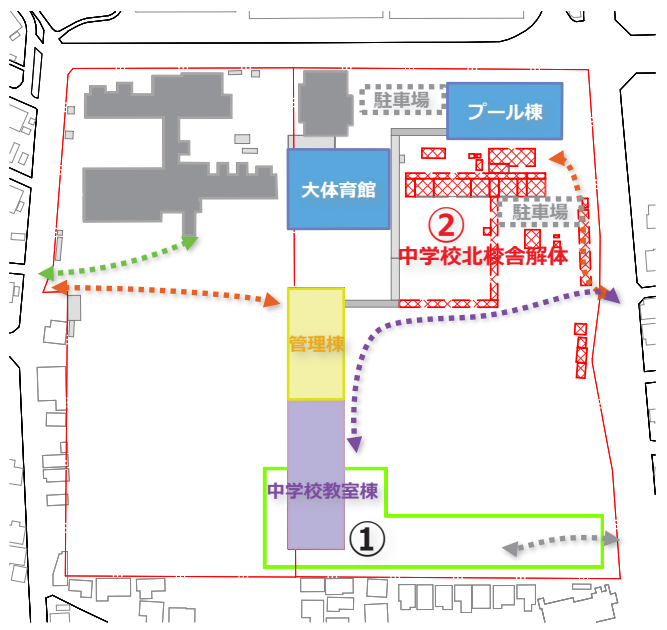
- ・グラウンドを建物でエリア分けすることができる。
- ・一部校舎を4階建てにすることで敷地内に広い空間が取れ、将来の拡張性が他の案に比べて大きい。

<懸念点>

- ・中学校普通教室は日射が半日のみとなる。
- ・グラウンドの一体的な利用ができない。

配置検討（C案）

■工事ステップの概要

<p>C案 工事ステップ1 令和8年頃</p>  <p>■施工順序 ① プール解体</p>	<p>C案 工事ステップ2か 令和11年頃</p>  <p>■施工順序 ① 大体育館建設 ② 屋内運動場解体 ③ プール棟建設</p>
<p>C案 工事ステップ3 令和14年～17年頃</p>  <p>■施工順序 ① 管理・教室棟建設 中学校教室棟建設 ② 中学校南校舎解体</p>	<p>C案 工事ステップ4 令和22年～23頃</p>  <p>■施工順序 ① 特別教室棟建設 ② 中学校北校舎解体</p>

